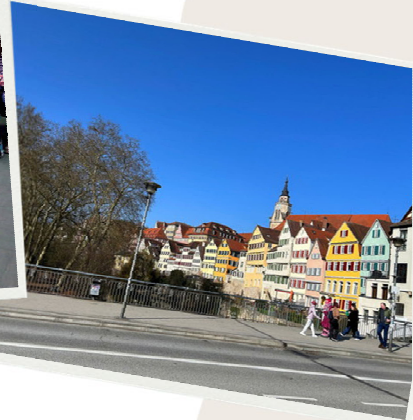


文化的・言語的に多様な子どものことばの教育 ードイツの教育実践から考えるー

2026年

9月20日(日)

14:00-16:00



ドイツでは移民背景を持つ人の割合が全人口の30%を超えており、文化的言語的に多様な背景を持つ子どもの数も増加している。初等教育・中等教育機関に在籍する移民の子どもたちも年々増えており、ドイツ社会への統合を目指した第二言語としてのドイツ語教育に加え、子どもの言語的文化的アイデンティティの保持を目的とした母語・出自言語教育から子どもの学びを促進しようとしている。さらに、ドイツの公教育では、いわゆるマジョリティ側の子どもたちに対しても、多様性への気づきを促し、子ども自身が主体となって共に生きていく力を涵養することに重点が置かれている。

本講演では、こうしたドイツにおける教育実践を概観し、現在日本における文化的言語的に多様な子どもの教育が抱える課題を共有する。そのうえで、子どもが安心して自分の力を存分に発揮できる教育のあり方について、参加者の皆さんと共に考えたい。

講師

岡山大学 学術研究院 社会文化科学学域 准教授

三輪 聖
Miwa Sei

2004年にドイツに渡航し、ベルリン自由大学、ハンブルク大学、テュービンゲン大学などにおいて日本語教育に従事。2026年4月に岡山大学に着任。これまで欧州における継承日本語教育の普及や情報発信を進めるとともに、日本と欧州の日本語教育分野の交流・連携強化に注力してきた。著書には『ことばの教育と平和一争い・隔たり・不正を乗り越えるための理論と実践一』（共編著、明石書店）、『対話を通して学ぶ「社会」と「ことば」日本語×民主的シティズンシップ』（共著、凡人社）などがある。

会場

岡山大学津島キャンパス 文化科学系総合研究棟2F 共同研究室
(〒700-8530 岡山市北区津島中3丁目1番1号)

【本セミナーは対面のみです。オンライン配信はありません】

【交通アクセス】岡山駅から岡電バス「岡山大学・岡山理科大学」行に乗車し「岡大西門」で下車。



対象

日本語教員養成課程担当者/ 修了者・履修者（学部生含む）
文化的・言語的に多様な背景を持つ子どもの教育に関わる方・関心のある方

参加費

無料（要事前申し込み）

QRコードからお申込みください→
2026年9月15日（火）申込締切



定員

50名



岡山大学
OKAYAMA UNIVERSITY



日本語教師養成・研修推進拠点整備事業
中国・四国ブロック

お問い合わせ先：
中東 靖恵（岡山大学）

yasue@cc.okayama-u.ac.jp